

I 事業報告 総括

令和5年度は新型コロナウイルスの第五類感染症移行に伴い、海外への渡航やリアル活動の制約が解除され、経済活動に於いても従来の姿となった。よって、会員各位のご理解・ご協力、事業への率先参画により、年間を通じて当初計画に基づいた事業運営が行えた。あわせて、企画委員会が中心となって事業計画を策定し、イノベーション・マーケティング・ネットワークの3つの専門部会が主体的に各事業に取り組んだ成果である。

主な事業は次のとおりである。

- 研究開発事業では、ニッチトップ・ニューマーケット推進事業として公募。これまで培ってきた自社の強みを活かし、自社にとっての新分野への事業展開や、自社の強みを更に高めるための製品競争力の強化を目的とした開発事業に対して、支援を実施した。
- 人材育成事業では、継続開催している半導体基礎講座を技術基盤として実施した。また、新分野・成長分野参入に直結した技術力を習得できるよう、首都圏開催の系統的な技術研修会を大分にて開催、当会員の技術力の向上をはかった。リスクリングとして、企画力を高めるために事業創出セミナーを継続した。
- 販路開拓・情報提供事業では、セミコンジャパン・アジア最大級展示博覧会であるネプコンジャパンに出展し、当会員の紹介及び当会PRを行った。また、台湾企業との商談会も新型コロナウイルスの第五類感染症移行に伴い、TEEIA・熊本県と連携し、4年ぶりのリアル開催とした。
- 会員交流事業では、トップセミナーを開催し、経営へ寄与すると共に会員相互の交流によるネットワークの強化を図った。会員交流会は交流活性化はもとより、昨今の自然災害による甚大な被害に備えたBCPの重要性についてセミナーを開催した。
- 総会では、あわせてフォーラムを開催し、半導体製造におけるレガシー設備の維持・管理や、今後の半導体市場の展望についてのご講演により、会員の知見を深めることができた。
- 平成30年度発行した、『災害時における相互協力に関する合意書』については、合意書会員登録がさらに増加し27社となり、BCM活動の更なる定着を図っていく。
(初版17社)
又、九州半導体・デジタルイノベーション協議会(SIIQ)、並びにいわて半導体関連産業集積促進協議会(I-SEP)との合意書を交付。

II 事業報告

1. 理事会・専門部会等の開催

「おおいたLSIクラスター中期ビジョン」の実現に向けた事業計画等を協議し推進するため、理事会、企画委員会と、イノベーション・マーケティング・ネットワークの3つの専門部会及びニッチトップ・ニューマーケット推進事業の審査会を開催した。

(1) 理事会

①第1回理事会

日 時：令和5年5月24日(水) 10:00～11:00

場 所：大分県産業科学技術センター 多目的ホール

議 題：・副会長、専務理事の選任について

- ・顧問の交代について
- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度収支決算報告
- ・令和5年度事業計画 ほか

②第2回理事会

日 時：令和6年3月13日(水) 10:00～11:30

場 所：大分県産業科学技術センター 多目的ホール

議 題：・令和5年度収支予算の補正について

- ・令和6年度事業計画及び収支予算
- ・令和5年度事業進捗状況報告 ほか

(2) 企画委員会

①第1回企画委員会

日 時：令和5年4月25日(火) 15:30～17:15

場 所：大分県庁舎 本館 防災活動支援室

②第2回企画委員会

日 時：令和5年6月15日(木) 16:00～17:30

場 所：大分県庁舎 本館 防災活動支援室

③第3回企画委員会

日 時：令和5年9月28日(木) 15:30～17:00

場 所：大分県庁舎 本館 82会議室

④第4回企画委員会

日 時：令和5年12月7日(木) 15:30～17:00

場 所：大分県庁舎 本館 71会議室

⑤第5回企画委員会

日 時：令和6年2月29日(木) 10:00～12:00

場 所：大分県庁舎 本館 71会議室

(3) 専門部会

[イノベーション部会]

①日 時：令和5年6月2日(金) 10:00～11:15

場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

②日 時：令和5年11月8日(水) 10:00～11:30

場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

③日 時：令和6年2月14日(木) 15:00～16:00

場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

[マーケティング部会]

①日 時：令和5年6月1日(木) 16:00～17:15

場 所：大分県庁本庁 防災活動支援室

②日 時：令和5年11月14日(火) 15:00～16:30

場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

③日 時：令和6年2月15日(木) 15:00～16:00

場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

[ネットワーク部会]

①日 時：平成5年6月2日(金) 13:30～14:30

- 場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室
 ②日 時：令和5年11月21日(火) 10:00～11:30
 場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室
 ③日 時：令和6年2月14日(水) 10:00～11:00
 場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

(4) ニッチトップ・ニューマーケット推進事業審査会／成果報告会

- ①日 時：令和5年5月31日(水) 13:30～17:00
 場 所：(発表者)大分県産業科学技術センター 201会議室
 (審査員)オンライン
 ②日 時：令和6年3月12日(火) 13:30～16:30
 場 所：(発表者)大分県産業科学技術センター 第1研修室
 (審査員)対面

2. 総会・フォーラムの開催

- 日 時：令和5年7月3日(月) <講演会>14:00～17:10
 場 所：ホテル日航大分オアシスタワー
 参加者：162名(64団体)
 内 容：①主催者挨拶 大分県知事 佐藤 樹一郎
 大分県LSIクラスター形成推進会議 会長 川越 洋規
 ②来賓紹介及び挨拶
 九州経済産業局 局長 苗村 公嗣 氏
 (一社)九州半導体・デジタルイノベーション協議会 会長 山口 宜洋 氏
 ③「おおいたLSIクラスター」事業報告
 大分県LSIクラスター形成推進会議 企画委員長
 大分県LSIクラスター形成推進会議 各専門部会長
 ④基調講演
 『宮崎工場 6inch ライン活用と今後の展開』
 講師 ラピスセミコンダクタ株式会社
 代表取締役社長 和久野 一雅 氏
 ⑤特別講演
 『2023年以降のエレクトロニクス・半導体市場展望
 ～市況回復の時期と牽引するアプリケーション～』
 講師 インフォマインテリジェンス合同会社
 シニア コンサルティング ディレクター 南川 明 氏

3. イノベーション事業の実施

(1) ニッチトップ・ニューマーケット推進事業

これまで培ってきた自社の強みをいかし、自社にとって新分野への事業展開(ニューマーケット進出事業)や、自社の強みを更に高めるための製品競争力の強化(ニッチトップ創出事業)を目的とした開発事業に対して補助金を交付した。

成果報告会を開催し、各事業の成果を確認するとともに、より効果的な事業とするためアドバイスをを行った。また、過去の採択案件についても適宜サポートを行った。

・ニューマーケット進出事業

- ①半導体製造用装置のチャンバーメンテナンス時に排出される
 ガスヒュームの排気装置(製品名FCE)の導入促進
 ②抗酸化水を生成するシャワー用カートリッジの開発

- ③音響技術を用いた物流効率化のためのシステム開発
- ・ニッチトップ創出事業
 - ①磁気事業の立ち上げに伴う磁気計測器の試作開発

(2) 先端技術力の向上及び中堅社員のスキルアップ

1) 事業創出セミナー

全2回の教育を通じて、人を巻き込みながら各社における新規事業を創出するカリキュラムの提供と実践支援を行った。

・開催日時：

7月5日(水)、7月19日(水) 10:00～17:00

参加者：6社(19名)

2) 技術者研修会

ビジネスチャンス獲得に向け、半導体の最新技術や新たな成長分野をテーマにした技術者研修会(技術者塾)を開催した。

①技術者塾Ⅰ

テーマ：事例中心で学ぶトヨタ流原価企画と原価管理

日時：令和5年9月13日(水) 9:30～16:30

場所：大分県産業科学技術センター 多目的ホール

講師：豊田エンジニアリング代表取締役

堀切 俊雄 氏

参加者：21企業 58名(大分県自動車関連企業会と共催)

②技術者塾Ⅱ

テーマ：なぜなぜ分析 演習付きセミナー実践編

日時：令和5年12月12日(火) 10:00～17:00

場所：大分県産業科学技術センター 多目的ホール

講師：マネジメント・ダイナミクス社長、中小企業診断士

小倉 仁志 氏

参加者：22企業 44名(自動車関連企業会と共催)

③技術者塾Ⅲ

テーマ：仮説立案実践講座

日時：令和6年1月18日(木) 13:00～17:00

方式：オンライン講座

講師：データ&ストーリーLLC 代表、多摩大学大学院 MBA 客員教授

星野 雄一 氏

参加者：15企業 92名

<技術者研修会総括>

技術者塾は、対面にてグループ討議を含めて行うべき内容を主として行い、1回はオンラインにて開催した。受講後のアンケート結果でも次のように「やや満足」以上で92.1%の高い評価であった。

①満足 60.8%、 ②やや満足 31.3%

③どちらでもない 4.8%、 ④やや不満 1.8%、 ⑤不満 0%

3) 技術セミナー

①デジタル回路設計講座

目的：ハードウェア記述言語(HDL: Hardware Description Language)を用いたデジタル回路設計の技術を身につける

日時：令和5年8月23日(水)、24日(木) 9:30～16:30

場所：大分工業高等専門学校

講師：情報工学科 講師 井上 優良 氏

参加者：9企業 13名

アンケート結果：やや満足以上 100%

②パワーデバイス基礎講座

テーマ：自動車電動化に向けたパワーデバイス開発の最新状況と今後の動向

日時：令和5年10月27日(金) 10:00～15:00

場所：大分県産業科学技術センター 多目的ホール

講師：筑波大学数理物質系 物理工学域 教授 岩室 憲幸 氏

参加者：16企業3機関 75名(大分県自動車関連企業会と共催)

アンケート結果：やや満足以上 96.0%

(3) 基礎教育・新人教育の充実

1) 半導体基礎講座

会員企業の新任技術者等を対象にした半導体基礎講座を、(株)エリアへ業務委託により実施した(コース3回)。又、会員協力により工場見学を開催。

日時：令和5年6月13日(火)、20日(火)、28日(水) 9:00～17:00

場所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

講師：13日 大分大学理工学部電気電子コース 准教授 大森 雅登 氏

20日・28日 (元)TI/ソニーエンジニア

(現)大手半導体関連企業

菊池 保夫 氏

企業見学：(株)ジャパンセミコンダクター大分事業所

ルネサスエレクトロニクス(株)大分工場

大分電子工業(株)三重工場

受講者：13日-15社 53名、20日-15社 50名

28日-15社 50名

2) 人材養成補助金

会員企業の事業計画に沿った専門人材の育成を目的に通信講座を活用する企業に授業料の補助を行った。

結果：3社 8名

(4) 「学」との連携・広域連携

1) 大学・高専連携推進補助事業

産学連携強化を目的に大分大学・大分高専との卒論テーマ・教職員共同テーマを会員企業課題として、共同研究を実施、その研究費の補助を行った。

■大分高専

①パワーモジュールの寄生インダクタンス設計検証

4. マーケティング事業の実施

(1) 海外ビジネス交流事業

今年度は、台湾電子設備協会(TEEIA)、熊本県工業連合会と連携して、4年ぶりに対面での台湾商談会を開催した。

当会・熊本県工業連合会・台湾電子設備協会、3団体主催にて、大分県・熊本県・台北の3会場で対面による商談会を開催した。

① 台湾との交流-1

商談会(熊本会場)

開催日：令和5年4月12日(水)

場所：ANAクラウンプラザ熊本

参加企業：大分LSI 5社、SIIQ 3社、熊本県工連 14社、

台湾企業 15社、大分県医療ロボット・機器産業協議会 1社

※大分 計36商談

②台湾との交流－２

商談会（台北会場）

開催日：令和５年９月７日（木）

場 所：ホテルイリューム台北

参加企業：大分LSI １１社、SIIQ会員 ２社、熊本県工連 １９社
台湾企業 ２９社

※大分 計５３商談

（２）大分県LSIクラスタービジネス交流事業費補助

上記②（台湾との交流－２）に出展する会員企業の渡航費用について補助を行った。

採 択：６社、１０名

（３）展示会への出展

①セミコンジャパン２０２３

半導体関連国際展示会である「セミコンジャパン２０２３」に、熊本県・長崎県・福岡県と合同で九州パビリオンとして出展した。九州パビリオンの中で会員企業６社と「クラスターブース」を形成して「おおいたLSIクラスター」の会員企業の新技術・新製品等の情報を発信した。あわせて企業立地課ブースを設け、大分県企業誘致を推進した。

開催日：令和５年１２月１３日（水）～１５日（金）

場 所：東京ビッグサイト 東ホール

総小間数：３０小間（展示エリア：２２小間）

出展内容：クラスターブースを会員６社がパネル・サンプル展示で活用。

ブース来場者：クラスターパンフレット、会員パンフレット 各配布

７２６名、１２６商談（３５商談）

②ネプコンジャパン２０２４

エレクトロニクス開発・製造・検査に関するアジア最大級の専門展である「ネプコンジャパン」に出展した。今年度は会員企業５社と合同で九州パビリオンとして出展、当会活動状況を紹介した。

開催日：令和６年１月２４日（水）～２６日（金）

場 所：東京ビッグサイト 東ホール

出展小間数：１．５小間

出展内容：クラスターブースを会員５社がパネル・サンプル展示で活用。

ブース来場者：クラスターパンフレット、会員パンフレット 各配布

１４４名、９商談

（４）いわて半導体関連産業促進協議会との交流

①同協議会の会員企業を視察し、更なる交流を図った。

日 時：令和５年７月１３日（木）～１４日（金）

訪問先：２社

参加者：２０名（１０社、２機関）

② 同協議会との連携協定、並びにの会員企業を視察し、更なる連携・交流を図った。

日 時：令和６年２月２１日（水）～２２日（木）

訪問先：１社

参加者：締結式 ２１名、意見交換会 １８名（８社、３機関）

5. ネットワーク事業の実施

(1) トップセミナー

会員企業の経営責任者等を対象として、さらなる資質の向上とネットワークの拡大を図ることを目的にトップセミナーを開催した。

①日 時：令和5年5月16日(火) 15:30～17:00

場 所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

方 式：対面開催

演 題：「半導体・デジタル産業戦略と今後の方向性」

講 師：経済産業省 商務情報政策局 情報産業課

デバイス・半導体戦略室 室長

荻野 洋平 氏

参加者：86名 (39団体)

②日 時：令和5年10月25日(水) 15:30～17:00

方 式：対面開催

演 題：「揺れる世界半導体の政策と情勢

－ 改訂された半導体・デジタル産業戦略と今後 －」

講 師：一般財団法人 機械振興協会 経済研究所

首席研究員

井上 弘基 氏

参加者：77名 (37団体)

③日 時：令和6年2月5日(月) 15:30～17:00

方 式：対面開催

演 題：「メタバース革命で半導体産業は異次元の成長段階に突入する！

～2025年には100兆円突破、シリコン列島ニッポンの誕生～」

講 師：株式会社産業タイムズ社 代表取締役 会長

泉谷 渉 氏

参加者：93名 (36団体)

<トップセミナー総括>

新型コロナウイルスの第五類感染症移行に伴い、制約が解除され対面開催となった。結果、合計256名の参加があり、受講後のアンケート結果でも、「やや満足」以上で93.1%の高い評価となった。次年度の講演も会員要望をふまえて開催していく。

①満足 61.1% ②やや満足 31.9% ③やや不満 6.9% ④不満 0%

(2) 会員間及び産学官のネットワークづくり

①会員交流会の開催

日 時：令和6年3月22日(金) 13:30～15:30

場 所：ホテル日航大分オアシスタワー 5階 孔雀の間

演 題：『災害時におけるサプライチェーンの実態とBCPの重要性について
～東日本大震災の経験より～』

講 師：熊本大学 監事

一般社団法人 日本通関業連合会 理事

渡辺 啓子 氏

参加者：38名 (17団体)

②おおいたテクノピッチの開催

大分県工業連合会と共催で、県内製造業の将来を担う人材確保につなげるため、県内企業が持つ優れた技術やものづくり産業の魅力を工業系学生に直接アピールする交流イベント「おおいたテクノピッチ」を開催した。

第1回目

日 時：令和5年7月13日(木) 10:30～12:00

場 所：日本文理大学

参加企業：8社 (内 当会会員4社)

ニシジマ精機(株)、REALIZE(株)
モバイルクリエイト(株)、(株)エリア
参加者：機械・電気工学科：38名(2年生、4年生)
航空宇宙工学科：15名(2年生、3年生)

第2回目

日時：令和5年7月19日(水)15:00～18:00

場所：大分大学

参加企業：12社(内 当会会員6社)

(株)デンケン、(株)日本マイクロニクス、モバイルクリエイト(株)
(株)AKシステム、(株)戸高製作所、REALIZE(株)

参加者：機械工学プログラム、知能機械システムプログラム：95名

第3回目

日時：令和5年10月11日(水)13:30～15:30

場所：大分工業高等専門学校

参加企業：12社(内 当会会員7社)

(株)佐々木精工、(株)戸高製作所、(株)江藤製作所、柳井電機工業(株)
ルネサスエレクトロニクス(株)、テクノプローブジャパン(株)
ソニーセミコンダクターマニュファクチャリング(株)

参加者：電気・電子工学科、機械工学科：62名

第4回目

日時：令和5年11月15日(水)14:40～17:40

場所：大分県立工科短期大学校

参加企業：14社(内 当会会員10社)

(株)AKシステム、(株)エリア、REALIZE(株)
エスティケイテクノロジー(株)、ルネサスエレクトロニクス(株)
ソニーセミコンダクターマニュファクチャリング(株)
(株)デンケン・ニシジマ精機(株)・(株)佐々木精工・柳井電機工業(株)

参加者：機械システム系(16名)、電気・電子システム系(19名)：35名

③おおいた“産”観日の開催

大分県工業連合会と共催で、県内製造業の将来を担う人材確保につなげるため、県内企業が持つ優れた技術やものづくり産業の魅力を工業系学生に直接アピールする会社見学会「おおいた“産”観日」を開催した。

日時：令和5年11月22日(水)8:30～17:00

概要：3コース

参加企業：8社[機械：2社、建築：3社、電気・電子：3社]、当会会員5社

エスティケイテクノロジー(株)、(株)ホックス、(株)デンケン
ソニーセミコンダクターマニュファクチャリング(株)
ルネサスエレクトロニクス(株)

参加者：大分県立工科短期大学校 1年生

機械システム系16名、建築システム系10名、
電気・電子システム系19名

(3) 『災害時における相互協力に関する合意書』 登録会員拡大

概要：災害時において会員の相互協力によって製品供給の継続に努め、顧客ひいては社会の発展に貢献できるよう参加会員にて合意した。

発行日：令和5年9月19日(平成31年2月27日(水)初版)

合意会員：27社

補足：九州半導体・デジタルイノベーション協議会(SIIQ)、並びに
いわて半導体関連産業集積促進協議会(I-SEP)との合意書交付を
各々令和6年2月8日、2月22日に実施。

第2号議案

令和5年度収支決算報告書

自 令和 5年4月 1日

至 令和 6年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	現計予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①	備 考
1 負担金収入	44,367,000	44,367,000	0	大分県負担金
2 事業収入	250,000	250,000	0	
3 会費収入	990,000	990,000	0	99社 * 10,000円
4 雑収入	2,000	2,420	420	預金利息、県工連還付金
当期収入合計(A)	45,609,000	45,609,420	420	
前期繰越金	3,529,000	3,529,411	411	
収入総合計(B)	49,138,000	49,138,831	831	

支出の部

(単位:円)

科 目	現計予算額 ①	決算額 ②	不用額 ①-②	備 考
1 理事会・専門部会等開催費	451,000	243,163	207,837	2回開催
理事会運営費	132,000	54,825	77,175	
報酬	64,000	24,900	39,100	
旅費	64,000	26,340	37,660	
食糧費	4,000	3,585	415	
専門部会・審査会等運営費	319,000	188,338	130,662	
報酬	208,000	157,700	50,300	
旅費	88,000	8,150	79,850	
食糧費	23,000	22,488	512	
2 総会・フォーラム開催費	1,189,000	1,187,188	1,812	
総会運営費	933,000	931,483	1,517	
食糧費	345,000	344,424	576	
印刷消耗費	184,000	183,359	641	
委託料	55,000	55,000	0	
使用料及び賃借料	349,000	348,700	300	
フォーラム開催費	256,000	255,705	295	
報償費	100,000	100,000	0	
旅費	156,000	155,705	295	
3 イノベーション事業費	16,482,000	14,818,216	1,663,784	
研究開発・調査研究事業費	10,900,000	10,225,887	674,113	
負担金補助及び交付金	10,900,000	10,225,887	674,113	
半導体技術者基礎講座費	891,000	890,571	429	
委託料	891,000	890,571	429	
技術者研修会費	1,479,000	1,072,000	407,000	
報償費	412,000	412,000	0	
印刷消耗費	5,000	0	5,000	
通信運搬費	2,000	0	2,000	
委託料	1,060,000	660,000	400,000	
人材養成費	831,000	650,929	180,071	
報償費	479,000	478,800	200	
印刷消耗費	50,000	31,584	18,416	
通信運搬費	2,000	0	2,000	
負担金補助及び交付金	300,000	140,545	159,455	7件
新分野・成長分野参入促進費	2,381,000	1,978,829	402,171	
報償費	290,000	289,680	320	
印刷消耗費	32,000	31,900	100	
委託料	2,036,000	1,635,199	400,801	
使用料及び賃借料	23,000	22,050	950	

科 目	現計予算額 ①	決算額 ②	不用額 ①-②	備 考
4 マーケティング事業費	11,717,000	10,569,381	1,147,619	
海外ビジネス交流事業費	3,611,000	3,448,838	162,162	
報償費	38,000	37,435	565	
旅費	1,295,000	1,294,924	76	
食糧費	223,000	222,496	504	
印刷消耗費	824,000	663,133	160,867	
通信運搬費	54,000	53,944	56	
委託料	357,000	357,000	0	
使用料及び賃借料	420,000	419,906	94	
負担金補助及び交付金	400,000	400,000	0	10件
販路開拓調査事業費	1,281,000	649,230	631,770	
報償費	10,000	9,200	800	
旅費	985,000	434,610	550,390	
食糧費	86,000	86,000	0	
使用料及び賃借料	200,000	119,420	80,580	
展示会出展事業費	6,825,000	6,471,313	353,687	
旅費	283,000	262,035	20,965	
印刷消耗費	218,000	217,580	420	
通信運搬費	269,000	268,620	380	
委託料	1,879,000	1,828,077	50,923	
使用料及び賃借料	4,176,000	3,895,001	280,999	
販路開拓・拡大補助事業費	0	0	0	
5 ネットワーク事業費	2,469,000	2,193,415	275,585	
トップセミナー費	1,431,000	1,343,943	87,057	
報償費	58,000	50,000	8,000	
旅費	66,000	72,740	▲ 6,740	
食糧費	356,000	355,433	567	
印刷消耗費	3,000	0	3,000	
通信運搬費	2,000	0	2,000	
委託料	200,000	150,000	50,000	
使用料及び賃借料	746,000	715,770	30,230	
産学・地域間交流事業費	410,000	382,242	27,758	
報償費	196,000	195,200	800	
旅費	26,000	25,350	650	
食糧費	11,000	10,057	943	
印刷消耗費	177,000	151,635	25,365	
会員交流会費	628,000	467,230	160,770	
報償費	164,000	92,000	72,000	
旅費	60,000	33,130	26,870	
印刷消耗費	63,000	51,700	11,300	
使用料及び賃借料	341,000	290,400	50,600	
6 事務局経費	16,830,000	15,924,396	905,604	
LSIクラスターアドバイザー費	0	0	0	
事務局長経費	5,850,000	5,558,340	291,660	
負担金補助及び交付金	5,850,000	5,558,340	291,660	
コーディネーター経費	6,342,000	6,087,431	254,569	
報償費	1,442,000	1,341,600	100,400	
負担金補助及び交付金	4,900,000	4,745,831	154,169	
情報提供費	397,000	378,620	18,380	
印刷消耗費	147,000	136,620	10,380	
委託料	250,000	242,000	8,000	
事務局運営費	4,241,000	3,900,005	340,995	
旅費	234,000	200,558	33,442	
食糧費	3,000	0	3,000	
印刷消耗費	582,000	425,495	156,505	
燃料費及び光熱水費	50,000	26,740	23,260	
通信運搬費	199,000	170,949	28,051	
手数料	1,005,000	958,263	46,737	
委託料	599,000	598,508	492	
使用料及び賃借料	862,000	844,175	17,825	
備品購入費	317,000	316,360	640	
負担金補助及び交付金	389,000	358,757	30,243	
公課費	1,000	200	800	
当期支出合計(C)	49,138,000	44,935,759	4,202,241	
当期支出差額(B)-(C)	0	4,203,072		